



校長の目 ～西小日々通信～

令和5年4月24日（月）



写真は、4年生の外国語活動の授業の様子です。教科書には、外国語活動の導入として「世界のあいさつ」が取り上げられています。地図・国名・国旗と併せてあいさつの言葉に触れます。ALTの先生に続いて、いろいろな国の言葉であいさつをする子供たちはとても楽しそうです。

現行の学習指導要領から、5・6年で外国語科が導入されました。外国語活動は、3・4年で行うことになりました。外国語活動は、英語に親しむことが主な目的ですが、外国語科は、英語の基礎力の習得を目指します。外国語活動で、聞くこと・話すことを中心に学び、外国語科では、聞くこと・話すことに加えて読むこと・書くことへつなげていきます。ちなみに、本校では1・2年生においても月1回程度、余剰時間を活用して外国活動を行っています。歌やゲーム等を通して、外国語に触れる楽しさを味わわせています。



理科室では、6年生が実験の真っ最中でした。「物の燃え方と空気」という学習です。本時は、ろうそくの火が燃え続けるために必要なことを探っていきます。物が燃え続けるために空気が必要であることは、既有知識として持っている子が多いのですが、その空気がどのように供給されているのかまではわかっていません。実験では、底が空いている瓶で火のついたろうそくを覆い、線香の煙の動きで空気の流れをとらえます。瓶の上だけ空いている場合、瓶の上下が空いている場合など、条件を変えて実験していきます。子供たちは、線香の煙の動きをじっと見つめながら、「上に動いているよ」とか「下から吸い込んでいるよ」というように、煙の動きから空気の流れを確認することができました。今後は、燃焼の仕組みについて、空気の成分や燃焼後の気体の変化に着目しながら実験を重ねていきます。



いよいよ1年生の給食が始まりました。1年生にとっては、全てが初めてのことなので、4時間目に指導を行い、続けて準備・配膳を始めました。給食当番さんはきちんと給食着を着て配膳をします。担任以外にも支援員等が入ってサポートしました。ふじみ野市の給食は、月（麺類）、火・木・金（ごはん）、水（パン）となっていますが、1年生の給食開始日は、配膳しやすく食べやすいパン食が提供されます。子供たちに、「おいしいですか？」と尋ねると、みんな「おいしい！」とニコニコです。たくさん食べて、丈夫な体をつくりましょう。

